

○検討中の事項

令和 7 年 5 月 22 日に開催した都市計画マスタープラン策定委員会等において、下記について意見があり、次の通り対応を検討しています。

★誘導区域に関する意見

1 居住誘導区域において、インフラ等の既存ストックが充足された区域であるか確認したほうがよい。不足している場合には、将来的な投資が発生するため居住誘導区域から除くべき。特に、安中南地区については、土地区画整理事業が未整備であり、農地が残り、インフラが不十分なため、居住誘導区域から除くべきである。

⇒ 別紙のとおり確認し、下記の通り分析した

全体 あえて居住誘導区域から除くほど著しくインフラ不足の場所はないと判断

安中南地区 下水道の計画区域でないため、合併処理浄化槽により処理

幹線道路は高い水準で整備

農地部分やその他路線の整備が不十分な場所が存在

住民とのワークショップを通じた「あたらしいまちづくり」による整備により、整備不十分箇所については解消に取り組んでいる

2 新島学園東部について地形地物で区切られていない。

⇒ 資料1のとおり、道路で区分する

3 安中榛名駅周辺の斜面・山林部分は広範囲で居住誘導の見込みがないので除くべき。

⇒ 資料1のとおり、除く

4 STEP4について、「公共が整備したからという理由だけでなく、整備したからこそ他のエリアと比べて下水や道路などのインフラが整っており、住みやすいなどの整理をすべき

⇒ 素案 P47 のように修正

5 STEP5 について、「現況の土地利用の一体性による区分としたほうが良い。

⇒ 素案 P47 のように修正

6 居住誘導区域から除外される地域に現に居住する人もいるため、対策や配慮が必要

⇒ 拠点に都市機能を維持し、そこにアクセスするための公共交通の利便性を向上させる計画のため、区域外の居住者のこれからの暮らしにおいても利点がある
住民説明会等を通じ丁寧に説明し、理解を求める

★誘導区域以外に関する意見

1 誘導施策に土地利用規制に関する施策を追加すべき。

⇒ 素案 P66 のように施策2-4に追加する

2 家屋倒壊等氾濫想定区域を居住誘導区域に含む安中南地区の防災施策をより具体的にすべき。地域防災計画等との整合も確認すべき

⇒ 素案 P95 のように、安中南地区の施策が具体的になるよう変更する
防災に関する関連計画との整合されるよう確認を行った
特に P95、P96 の施策について、国土強靱化地域計画との整合を図った

3 関東平野北西縁断層帯等の活断層について確認してもらいたい。

⇒ 参考資料3において、資料提供する

4 目標値について、人口密度も指標化すべき。

⇒ 素案 P99のように、人口密度も指標化する

5 居住誘導にあたり、誘導可能な人口となっているのか確認してもらいたい。

⇒ 下記のとおり確認した

	居住誘導 区域内	区域内(813. 9ha) 人口密度	居住誘導 区域外	全域
R2	18,001	22.1	36,906	54,907
R22 推計	13,852	17.0	27,688	41,540
R22 目標	18,001	22.1	23,539	41,540

4,149 人(区域外人口の 15%)を区域外から誘導すると目標値となる

安中市下水道処理事業

凡例

- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域

秋間のりが丘地区
し尿処理施設

公共下水道（県央処理区）
板鼻小処理分区

公共下水道（県央処理区）
原市小処理分区

公共下水道（県央処理区）
安中小処理分区

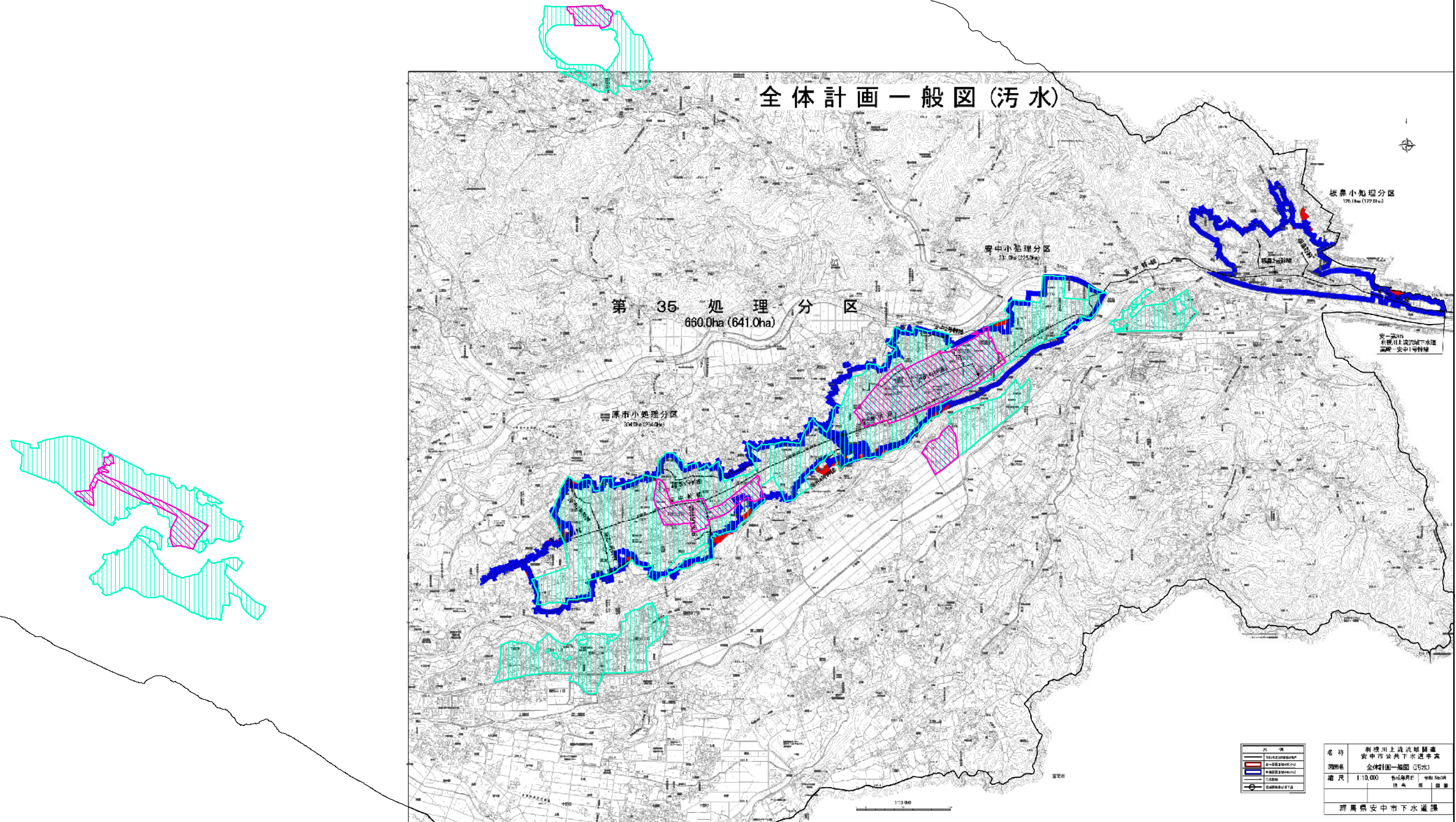
安中第35
利根川上流流域下水道
高崎—安中—号幹線

安中町
安中駅



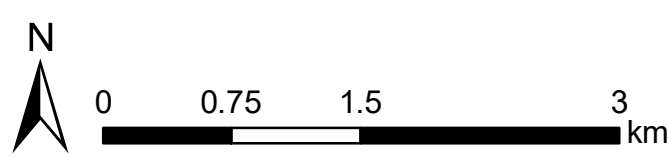
- 凡例
- 都市機能誘導区域
 - 居住誘導区域

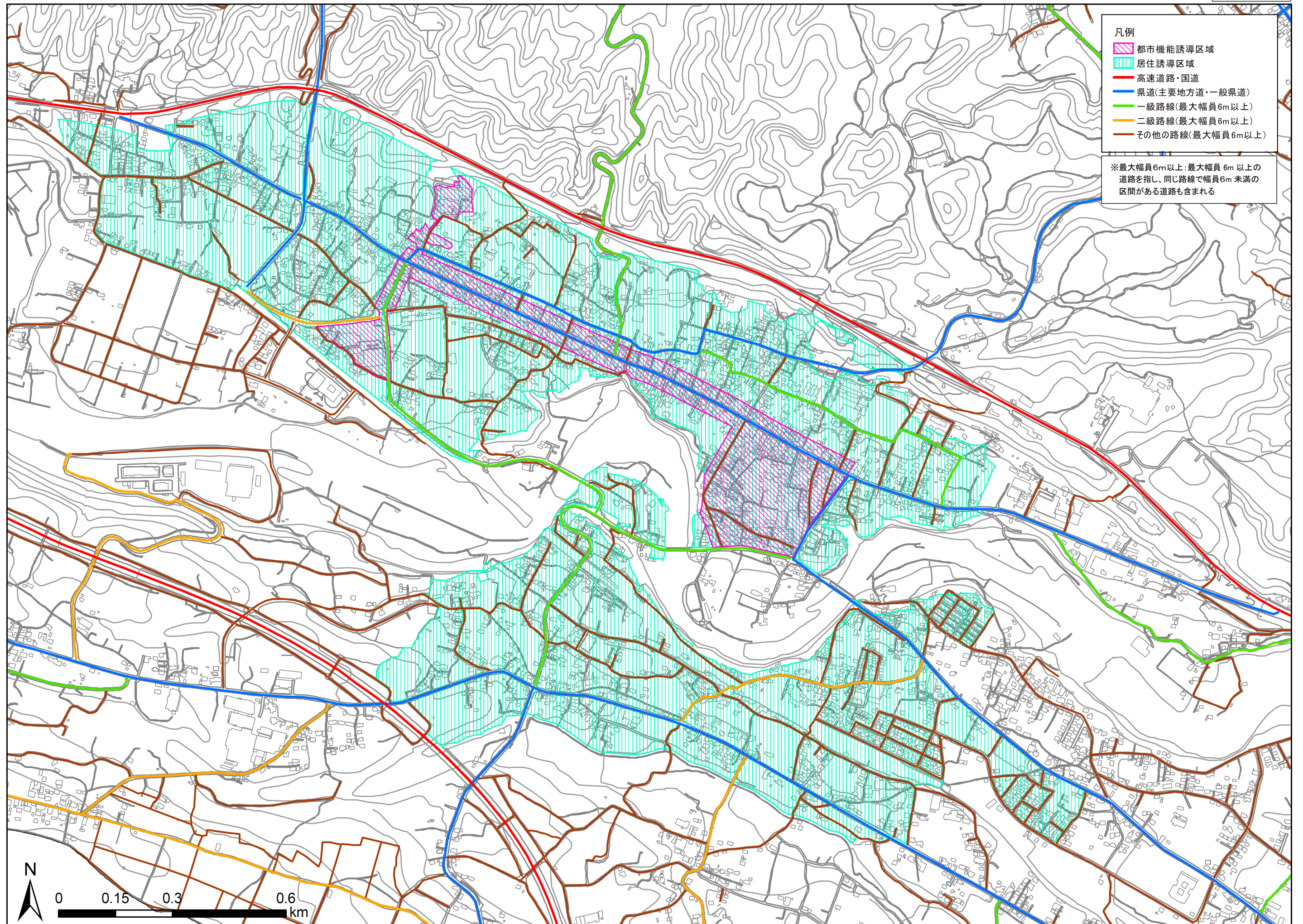
全体計画一般図(污水)

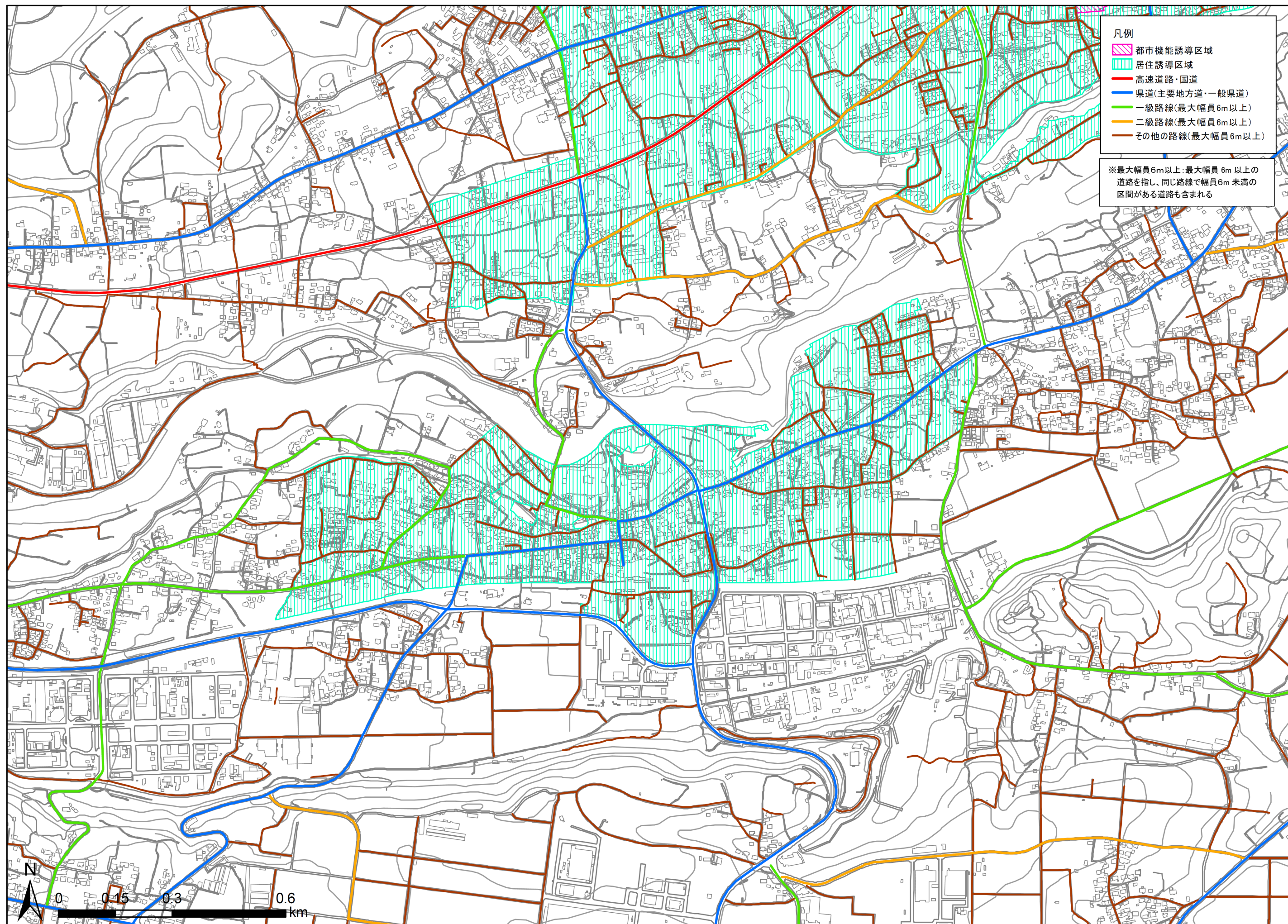


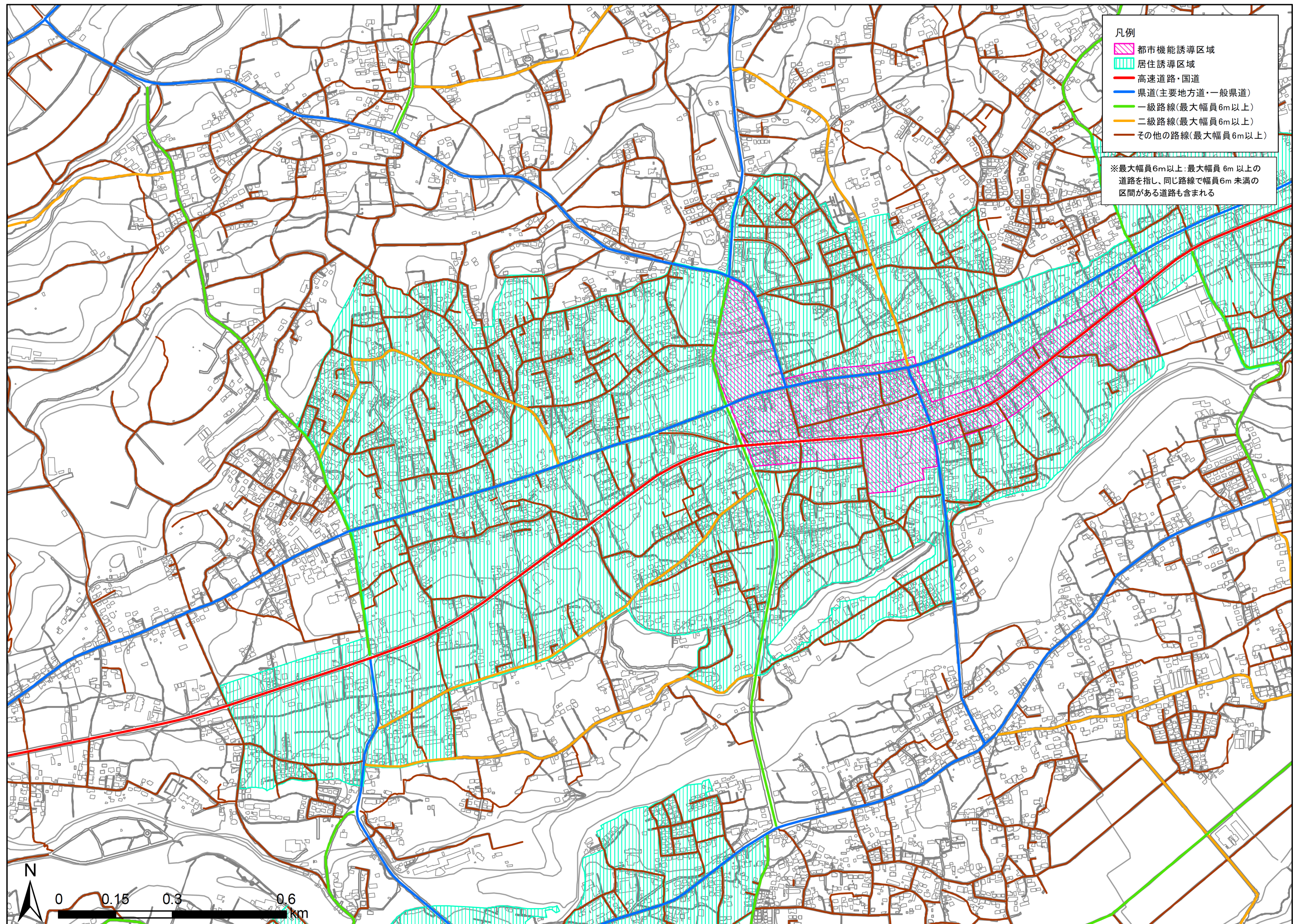
凡例
都市機能誘導区域
居住誘導区域
市界
主要道路
河川
市界

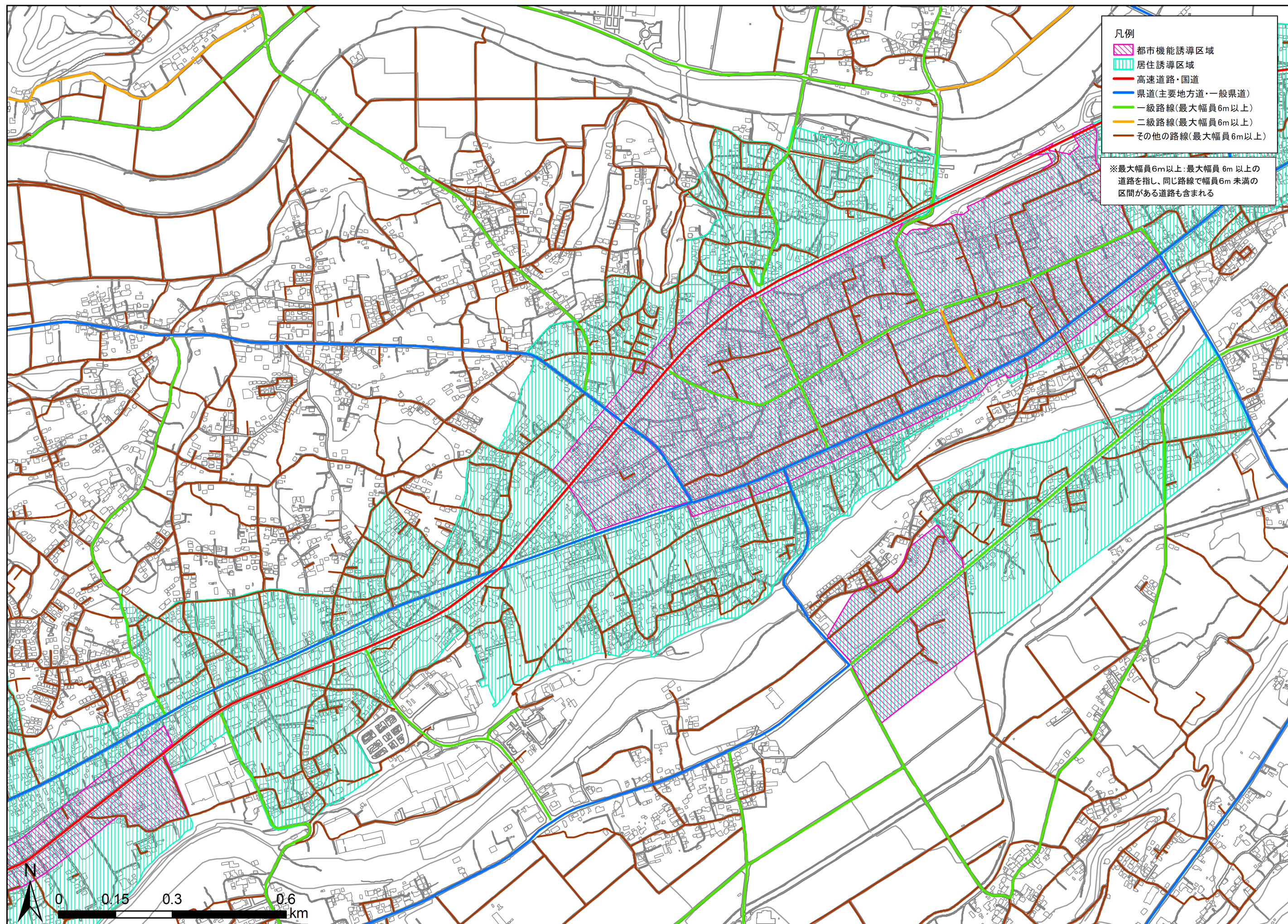
名称	利根川上流流域計画
図面名	安中市公共下水道事業 全体計画一般図(污水)
縮尺	1:10,000 縮尺換算表 参照 500m
作成	群馬県安中市下水道課

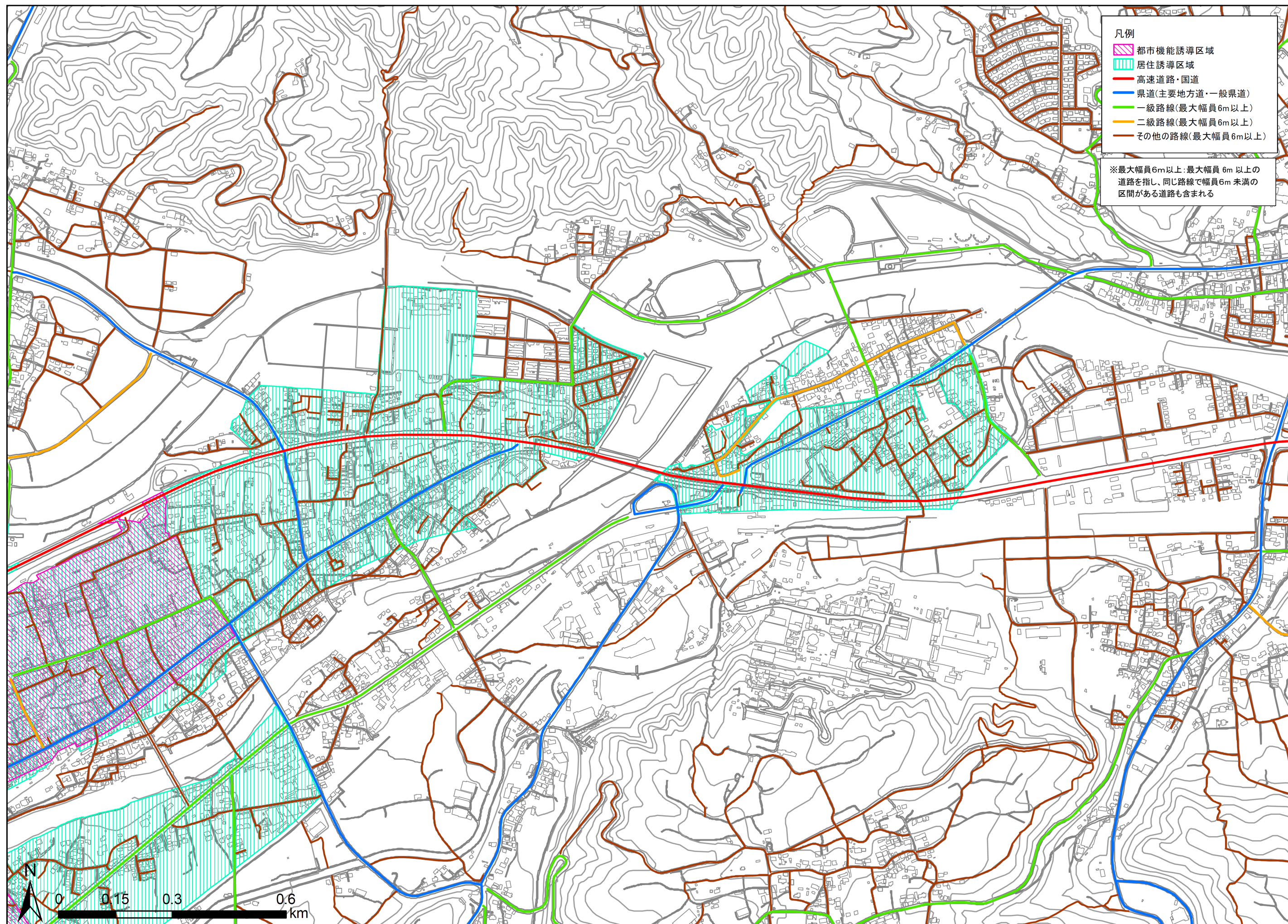


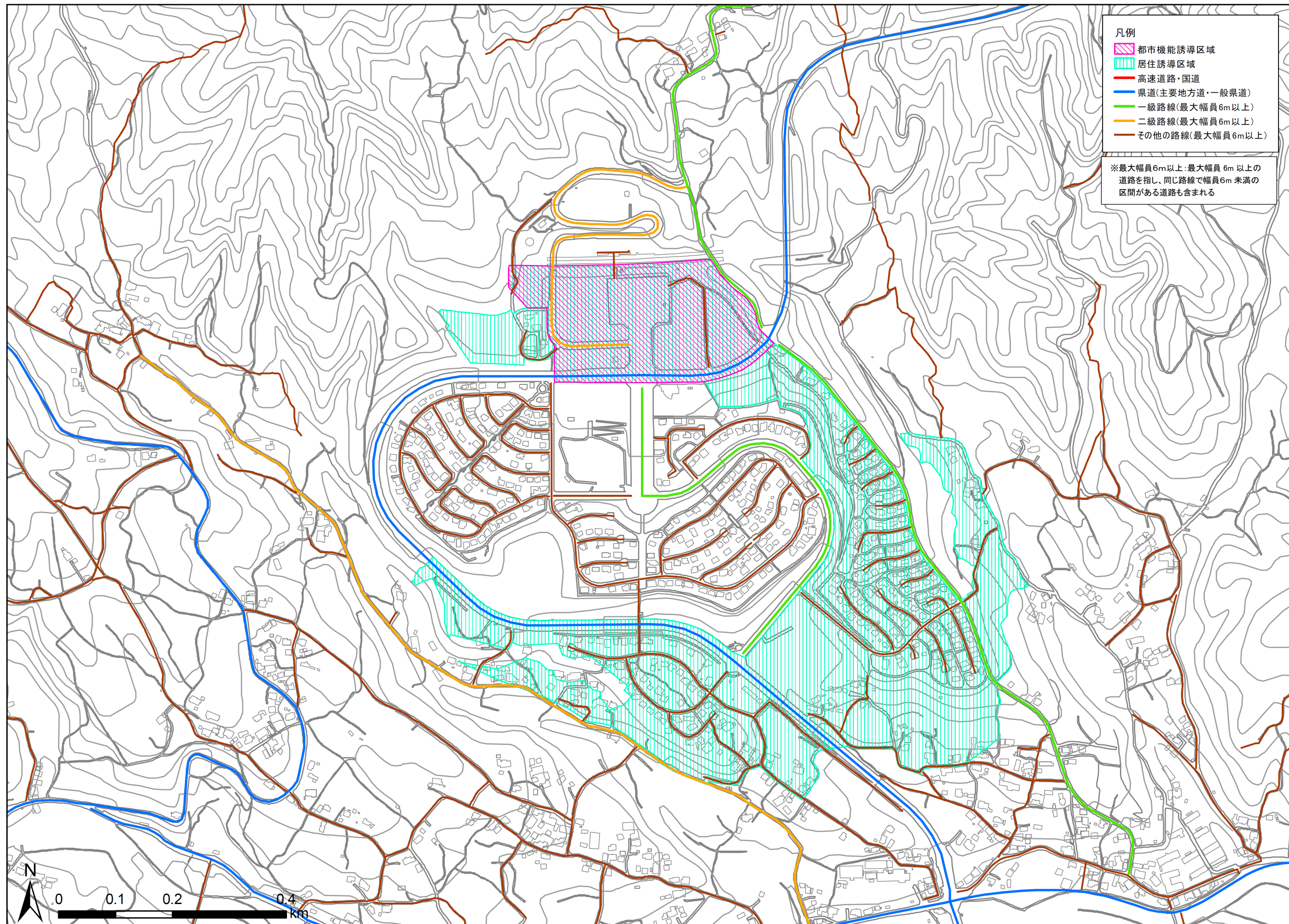












防災指針補足資料 安中市周辺の断層位置

地震が少ないといわれている群馬県内にも、約 10 の活断層が確認されています。平成 24 年に群馬県が行った「地震被害想定調査」によると、多くの人が寝ている冬の早朝に、高崎、藤岡市などを通る活断層による地震が起こった場合、死傷者は最大で 20,876 人にのぼると予測されています。

今後 30 年以内の発生確率は極めて低いとされますが、大地震はどこでも起こりうると考えて備えてください。



出典：安中市災害対応ガイドブック

■主な活断層概要**●片品川左岸断層**

長さ約 7 ～ 9 km で、片品川流域に分布する活断層。

●太田断層

長さ約 18km で、太田市東部から桐生市南部に延びる活断層。

●磯部断層

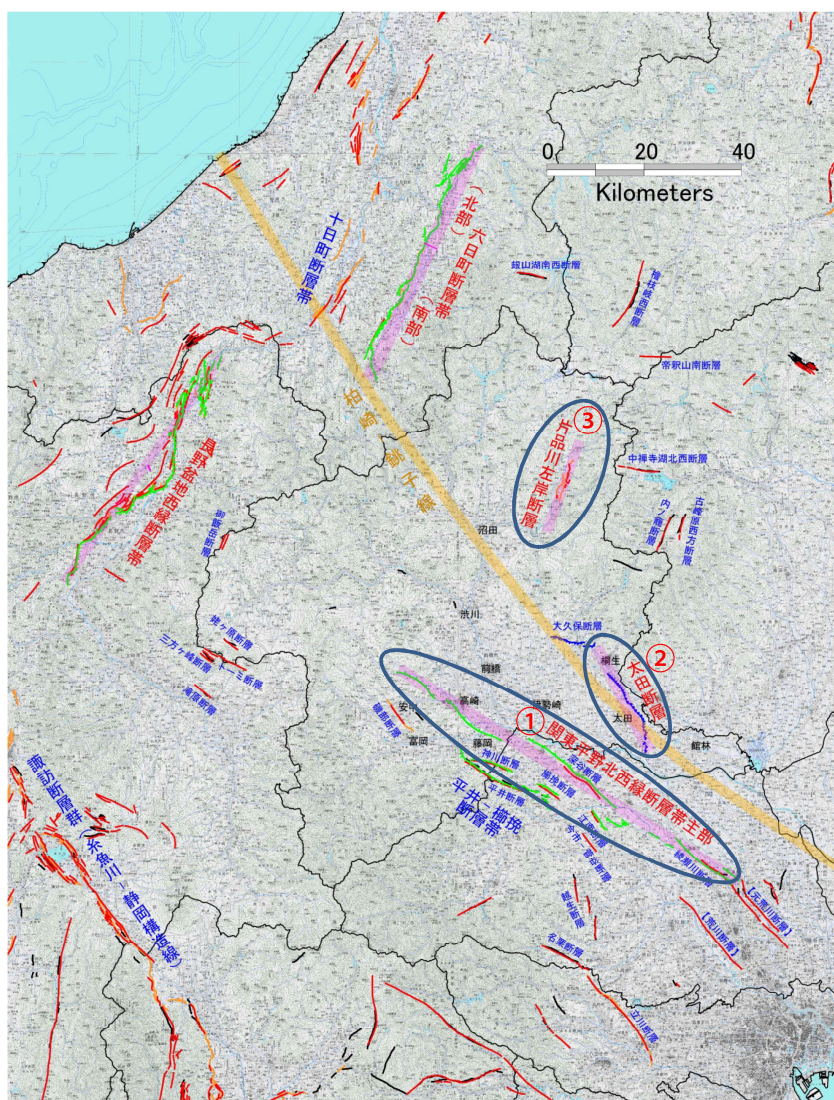
長さ約 4.3km で、碓氷川の流路方向に対してほぼ直交する北西—南東走向の活断層。

●関東平野北西縁断層帯主部

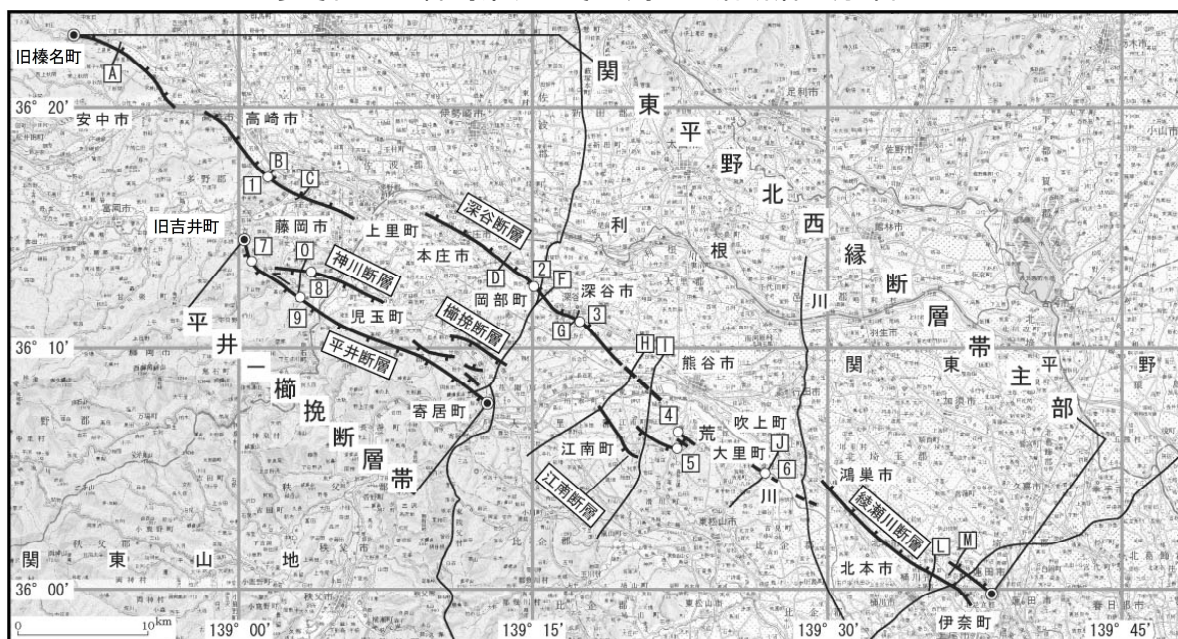
長さ約 82km で、連続的に分布する深谷断層、江南断層及び綾瀬川断層（ともに埼玉県北部）をあわせた断層帯。

※「群馬県地震被害想定調査 報告書（平成 24 年 6 月 群馬県）」より作成。

※磯部断層のみ「1:25,000 都市圏活断層図関東平野北西縁断層帯とその周辺「高崎」解説書（平成 25 年 11 月 熊原 康博 編集 国土地理院）」より作成。



参考図 1：群馬県及びその周辺の活断層の分布図



参考図 2：関東平野北西緑断層帯の位置図

参考図出典：群馬県地震被害想定調査 報告書